

2020.03 初版

2020.04.15 更新

2020.07.22 更新

2020年 教員免許状更新講習 受講者募集要項



<受講までの流れ>

①	<p>【申し込み（受講者から）：4/3（金）～4/9（木）】</p> <p>募集要項を確認のうえ、ホームページから受講申込みをする。</p> <p>申込者情報（連絡先・勤務校など）・受講希望講習を入力し、送信する。</p> <p>【更新講習受講申し込み確認メール】を受信し確認をする。</p>
②	<p>【受講可否通知（大学からメール）：4/23（木）→ 4/15（水）送信】</p> <p>申込受付期間終了後、【受講可否通知（メール）】を受け取る。</p> <p>受講可の場合、メールと共に送られてくる申し込み関係書類を印刷・記入する。</p> <p>※申込受付期間終了時点で定員を超える場合は抽選となります。</p>
③	<p>【申込書類を郵送（受講者から）：5/14（木）→ 5/21（木）[消印有効]】</p> <p>受講申込書・受講対象者証明書・受講料振込証明書貼付台紙・事前アンケートを本学まで郵送する。</p> <p>提出準備1： 全ての書類を記入漏れがないよう記入する。 受講対象者証明書に所属長等の証明（公印）を受ける。</p> <p>提出準備2： 受講料振込書で受講料を振り込み、受講料振込証明書を受講料振込証明書台紙に貼り付ける。</p>
④	<p>【手続き完了通知・受講証・事前課題を郵送（大学から）：5/21（木）→ 5/28（木）頃発送】</p> <p>受講証に証明写真を貼付する。</p> <p>※事前課題がある講習（シラバス参照）を受講する場合は、課題内容を同送します。</p>
⑤	<p>【事前課題を郵送（受講者から）：6/5（金）→ 6/12（金）[必着]】</p> <p>事前課題がある講習を受講する場合は、課題を実施し郵送する。</p>
⑥	<p>【講習を受講：7/30（木）～8/4（火）】</p> <p>受講証を持参してください。</p>

※申し込み方法の詳細は p3-5 に記載しています。

目次

1.	教員免許状更新講習の開設趣旨	1
2.	受講対象者	1
3.	講習一覧	2
4.	募集人員	2
5.	申し込み方法	3
(1)	申込受付期間	3
(2)	申し込み手順	3
(3)	受講料	5
(4)	受講料納入方法	5
6.	受講に際して	5
7.	認定について	6
(1)	認定方法	6
(2)	認定結果の通知	6
8.	教員免許状更新講習受講者評価書について	6
9.	個人情報の取り扱いについて	6
10.	その他	7
(1)	連絡方法について	7
(2)	昼食について	7
(3)	自転車・バイクでの来学について	7
(4)	自家用車での来学について	7
(5)	公衆衛生の保全について	7
(6)	講習の中止について	7
(7)	予備日について	8
(8)	学校保健安全法で出席停止とされる感染症の罹患などにより受講ができない場合 について	8
(9)	受講料の返還について	8
(10)	損害保険について	9
(11)	写真などの撮影について	9
(12)	受験上配慮を必要とされる方について	9
(13)	修了証明書及び履修証明書の再発行について	9
11.	問い合わせ先	9
12.	参考	9
13.	講習スケジュール	10
14.	本学アクセスマップ	11
15.	講習シラバス	12

1. 教員免許状更新講習の開設趣旨

平成21年4月1日より教員免許状更新制が導入され、教職課程を有する大学の責務として、また、社会の要請に応じることを目的として、本学において教員免許状更新講習を開設するものです。

2. 受講対象者

受講対象者は、以下の①から⑧のいずれかに該当し、かつ、ア) またはイ) に該当する方です。

- ① 現職教員（校長、副校長、教頭を含む。但し、指導改善研修中の方を除く）
- ② 実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
- ③ 教員採用内定者
- ④ 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用（または非常勤）教員リストに登載されている方
- ⑤ 過去に教員として勤務した経験のある方
- ⑥ 認定こども園で勤務する保育士
- ⑦ 認可保育所で勤務する保育士
- ⑧ 幼稚園を設置する者が設置する認可外保育施設で勤務している保育士

ア) 旧免許状所持者(平成21年3月31日までに授与された普通免許状又は特別免許状) 教諭免許状又は養護教諭免許状を者で、以下の生年月日の方

2021年3月31日に修了確認期限となる者	2022年3月31日に修了確認期限となる者
平成23年3月31日を修了確認期限として更新手続きを行った者 (参考) 昭和50年4月2日～昭和51年4月1日生 昭和40年4月2日～昭和41年4月1日生 昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生	平成24年3月31日を修了確認期限として更新手続きを行った者 (参考) 昭和51年4月2日～昭和52年4月1日生 昭和41年4月2日～昭和42年4月1日生 昭和31年4月2日～昭和32年4月1日生

イ) 新免許状所持者(平成21年4月以降に授与された普通免許状又は特別免許状) 免許状の有効期間満了日まで2年2ヶ月の期間内にある方

旧免許状は、免許状取得者に修了確認期限が定められています。旧免許状の所持者が新たに取得した場合も旧免許状として授与されます。最初の修了確認期限は原則として生年月日で定められます。

新免許状は、免許状に有効期間が定められています。複数免許を有する場合、最も遅い有効期間に統一されます。

なお、受講対象者など全般にわたる情報は、以下のホームページで確認してください。

文 部 科 学 省： http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm

文部科学省有効期間確認ツール： http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/013/1420173.htm

3. 講習一覽

【A】必修領域講習

講習名		主な受講対象者	開設日	時間数
【A】	最新の教育動向と子ども理解	全教員	7月30日 (木)	6時間

【B】選択必修領域講習

講習名		主な受講対象者	開設日	時間数
【B】	情報通信技術と教育	<学校種> 幼・小・中・高・特支 <免許職種、教科等> 特定しない <職務経験等> 特定しない	8月4日 (火)	6時間

【C】選択領域講習

講習名		主な受講対象者	開設日	時間数
【C1】	児童生徒の理解に役立つ社会心理学	<学校種> 幼・小・中・高 <免許職種、教科等> 教諭（全教科）	7月31日 (金) 8月1日 (土)	12時間
【C2】	カウンセリングと教員	<学校種> 小・中・高 <免許職種、教科等> 教諭（全教科）	8月3日 (月)	6時間

※選択領域講習において、養護教諭、栄養教諭の受講は受け付けることができません。

※【C1】児童生徒の理解に役立つ社会心理学は、2日間の受講が必要です。

※本学は中学校・高等学校の教員養成課程を設置しており、本講習の担当講師となります。

受講申し込みの前に講習シラバスの内容がご自身にとって有意義な講習であることを必ずご確認のうえお申込みいただくようお願いします。

4. 募集人員

【必修領域講習】50名 【選択必修領域講習】50名 【選択領域講習】各50名

5. 申し込み方法

(1) 申込受付期間

申込受付期間は、必修領域講習・選択必修領域講習・選択領域講習とも以下のとおりとなります。

申込受付期間	2020年4月3日(金)9時00分～2020年4月9日(木)17時00分まで
--------	--

*追加募集について

~~第一次締切日以降の募集がある場合は、5月25日(月)9時00分からホームページ上で募集をします。~~

(2) 申し込み手順

受講申し込みは、本学公式ホームページのトップページからリンクしている、教員免許状更新講習サイト (<https://www.osaka-gu.ac.jp/events/2020/08/koushin2020.html>) から申請し、以下に示す各手続きを行ってください。

なお、申込受付期間終了の時点で定員を超えている講習は抽選により受講者を決定します。

ただし、次の方については受付を優先します。

なお、対象者は事前にご連絡が必要となり、ご連絡なき場合は一般の受付となります。

- ・ 本学併設校の教職員（非常勤講師を含む）
- ・ 本学卒業生

また、各講習とも申込者が5名に満たない場合は開催を中止することがあります。

① ホームページから受講申込みをする

教員免許状更新講習サイトにアクセスして、申込フォームから受講申し込みを行ってください。

□ 申込者情報を入力する。

申込フォームの各項目を漏れなく入力してください。

申込が完了しますと、ご登録のメールアドレスに更新講習受講申し込み確認メールが届きますので、必ずご確認ください。

メールが届かない場合

メールアドレスの登録の間違い、またはドメイン指定受信設定がされているなどが考えられます。

ドメイン受信設定がされている場合は、koushin@ogu.ac.jpからのメールが受信できるよう設定をお願いします。

なお、設定方法は、ご契約のプロバイダ、携帯電話会社等にご確認ください。

また、メールアドレスの入力ミスの場合は、更新講習担当までご連絡ください。この登録メールアドレスを利用し、次の②受講可否通知(メール)などをお送りすることになります。

② 申込受付期間終了後、【受講可否通知（メール）】を受け取る

受講可の場合、メールと共に送られてくる申し込み書類を印刷・記入する。

申込受付期間終了後、本学より、【受講可否通知メール】が届きます。受講可能な場合、申込書類（受講申込書／受講対象者証明書／受講料振込用紙／受講料振込証明書貼付台紙／事前アンケート）を併せてお送りします。これらの書類を印刷・記入し、それぞれ提出準備を行ってください。

なお、~~受講可否通知メールは4月17日（金）以降に送信する予定です。~~4月15日送信しました。

□ 受講申込書

受講申し込みのための情報を記入し証明写真を貼付してください。なお、証明写真（縦4cm×横3cm、正面・上半身・脱帽・無背景・3ヶ月以内に撮影）は裏面に氏名を記入し、貼付してください。

□ 受講対象者証明書

必要事項を記載のうえ、所属長の職名・氏名を記入のうえ、証明印（公印）を押印してください。証明印が個人印の場合は受付できません。

□ 受講料振込用紙

受講料を振り込む際にご利用ください。

□ 受講料振込証明書貼付台紙

受講料を振り込んだ際に受け取った受講料振込証明書を貼り付ける台紙です。氏名等を記入してご提出ください。

□ 事前アンケート（課題意識調査）

受講者の皆様のニーズおよび学習動機を本学が把握するとともに、皆様ご自身が、これまでの教職経験を振り返る契機とすることを目的とした事前アンケートですので、必ずご提出ください。

なお、必ずしもご希望にお答えできない場合もあることをご了承ください。

③ 提出のための準備-1

□ 全ての書類を記入漏れがないよう準備してください。

受講申込書の修了確認期限もしくは有効期間の満了日の記載もれが例年多数あります。受講対象者であることの確認に必要ですので、特にご注意ください。

教員免許状の有効期間確認は文部科学省の以下のページをご参考にご確認ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/013/1420173.htm

なお、お申込みいただいた方は受講対象者であると判断し、受付を行いますので、くれぐれも各自で対象であることの確認を行ってください。

④ 提出のための準備-2

□ 受講料振込用紙で受講料を振り込み、受講料振込証明書を受講料振込証明書貼付台紙に貼り付ける。

受講料振込用紙を利用して受講料を振り込んでください。その際に受け取った受講料振込証明書を受講料振込証明書貼付台紙に貼付してください。

⑤ 受講申込書・受講対象者証明書・受講料振込証明書貼付台紙・事前アンケートを本学に郵送する

提出準備の完了した、受講申込書・受講対象者証明書・受講料振込証明書貼付台紙・事前アンケートを以下の送付先まで郵送してください。

なお、これらの書類の提出期限は、**5月21日(木)(消印有効)**です。期限厳守にご協力をお願いします。

送付先：〒564-8511 吹田市岸部南二丁目 36 番 1 号

大阪学院大学 教務事務室教務課 教員免許状更新講習担当

⑥ 【手続き完了通知(郵送)】が届く

手続きは以上です。郵送した書類に不備等がなければ【手続き完了通知】と【受講証】が届きます。受講証には証明写真を貼付し、受講日にご持参ください。

なお、講習によっては、事前に提出していただく課題が提示されているものがあります。申し込んだ講習に【事前課題】がある場合は、手続き完了通知と同送しますので、**6月12日(金)(必着)**に提出するようにしてください。

(3) 受講料

必修領域講習 (6時間)	6,000 円
選択必修領域講習 (6時間)	6,000 円
選択領域講習 (6時間の講習)	6,000 円
選択領域講習 (12時間の講習)	12,000 円

(4) 受講料納入方法

受講料納入の際には、必ず専用の振込用紙(メールに添付してあるもの)を利用して、**5月21日(木)までに**金融機関の窓口から振り込んでください。期日までに振り込まれなかった場合、受講申し込みが無効となりますのでご注意ください。

なお、やむをえずATMやインターネットバンキングから振り込む場合は、必ず振込依頼書に記載されている入金コードと氏名(フリガナ)の順に打電して振り込みを行い、振り込んだ際の利用明細書(コピー)等を受講料振込証明書貼付台紙に貼付して提出してください。なお、振込手数料は申込者負担となります。予めご了承ください。

領収書は、改めて発行しませんので、振込領収書は各自で必ず保管しておいてください。

6. 受講に際して

講習当日必要なものは以下のとおりです。(教材テキストは受講初日に配付します。)

- 受講証(あらかじめ証明写真を貼付したもの)
- 筆記用具
- 上着など

(教室内はエアコンで温度調整していますが、個人により体感温度は異なりますので、温度調節ができる服装でお越しください。)

7. 認定について

(1) 認定方法

講習履修の認定は、認定試験の成績ならびに出席の状況に基づいた評価によって行われます。それぞれの評価に関わる留意事項は次のとおりです。

□ 出席

遅刻や早退などの場合は認定されません。

2日間に渡り開講する講習では、いずれか1日の受講では認定されません。

□ 認定試験

認定試験を実施します。

試験の内容は受講された講習に基づいており、講習内容への理解確認を行います。これを受験されない場合は認定されません。また、不正行為があった場合も認定されません。

なお、修了認定については認定試験（ならびに事前課題等がある場合は提出された課題）の結果に基づき、「認定・不認定」で評価を行います。

(2) 認定結果の通知

各講習の認定試験の結果、認定基準に達した受講者には、9月下旬までに修了証明書もしくは履修証明書を郵送します。本発送を持って結果発表とします。

なお、通知はレターパックプラスで送付します。受け取りには受領印が必要となりますので、不在通知が入っていれば、必ず郵便局に再配達を依頼しお受け取りください。

万が一、保管期間が過ぎ本学へ返却された場合は、再送しますが、郵送料は受講者にご負担いただきます。

この証明書は、免許管理者（勤務する学校（園）所在地の都道府県教育委員会）へ更新講習修了確認の申請を行う際に必要となりますので、大切に保管してください。

なお、30時間以上の講習の課程を修了された場合は、証明書を添えて最初の修了確認期限の2か月前までに免許管理者へ申請してください。

8. 教員免許状更新講習受講者評価書について

各講習日の認定試験終了後、今後の教員免許状更新講習の改善と更新講習に関する情報提供のために教員免許状更新講習受講者評価書の記入をお願いしています。本評価書は文部科学省より講習開設者に実施が義務付けられており結果を報告する必要があります。履修認定に係る評価には一切影響ありませんのでご協力をお願いします。

9. 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の所有する個人情報の保護に関する法律」及び「大阪学院大学個人情報保護基本方針」に基づいて取り扱います。

受講申込書等に記載いただいた個人情報については、本学で実施する講習の目的以外には利用しませんが、都道府県教育委員会より履修認定に関する照会があった場合に限り情報を提供することがあります。

なお、いったん提出された書類は、事情に関わらず一切返却しません。

10. その他

(1) 連絡方法について

メール又は、公式ホームページ等でご連絡します。

また、申し込みから受講修了まで数か月に渡ります。申し込み手続き完了後、メールアドレスや住所などに変更が生じた場合は、できるだけ早い時点でご連絡ください。

(2) 昼食について

講習期間中は学生夏期休暇中のため、学生食堂の営業は予定しておりません。近隣にコンビニエンスストアや飲食店はありますが、事前にご準備いただくことをお勧めします。

(3) 自転車・バイクでの来学について

P. 11 の本学アクセスマップに記載のとおり駐輪場をご用意しております。自転車もしくは原動機付自転車、普通自動二輪車（小型・中型）、大型自動二輪車で来学の場合は、4号門から駐輪場へ入校し駐輪してください。

(4) 自家用車での来学について

本学では、学生の自家用車での通学を禁じていることから、十分な駐車場をご用意しておりません。公共の交通機関をご利用ください。

(5) 公衆衛生の保全について

講習の特性上、終日同じ教室で多数の方にお過ごしいただくこととなりますので、手洗いやマスク着用など各自でご配慮ください。

(6) 講習の中止について

鉄道の運休・自然災害等のため、やむを得ず講習を中止する場合があります。また、その他の非常変災により講習実施が困難であると本学が判断した場合には、講習を中止する場合があります。

- ① 阪急電車・西日本旅客鉄道（大阪～京都間）のいずれかが、午前8時の時点で運休している場合、講習を中止します。
- ② 大阪府（北大阪、大阪市）のいずれかに暴風警報、特別警報が午前8時の時点で発令されている場合、講習を中止します。
- ③ 自然災害や火災などにより、講習実施が難しいと判断される場合、講習を中止します。

なお、講習の中止を決定した場合は、受講者宛にメールで連絡をします。

本学では可能な限り受講者の皆様の受講機会を確保したいと考え、講習中止の判断を講習開始の1時間前としております。お住まいの地域により危険があると判断される場合には、ご自身の安全を第一に各自でご判断ください。この場合、状況を確認のうえ受講料は全額返金させていただきます。

また、いかなる事情でも遅刻は認められません。

(7) 予備日について

(6) により講習が中止になった場合は、以下のとおり予備日に実施します。

詳細につきましては、決定次第ホームページ等でお知らせしますが、以下の点につきまして予めご了承のうえお申込みください。

予備日	講習
8月5日(水)	【A】必修領域講習 【B】選択必修領域講習 【C1】児童生徒の理解に役立つ社会心理学 (いずれか1日のみ中止となった場合) 【C2】カウンセリングと教員
8月6日(木)	【C1】児童生徒の理解に役立つ社会心理学 (2日とも中止になった場合)

ア) 予備日は1講習1日しか設定しないため、複数日に渡り講習が中止になった場合、いずれか1講習を選択し受講していただくことになります。

イ) 2日に渡り実施される講習について、いずれか1日のみ中止になった場合は、8月5日(水)、2日とも中止になった場合は、8月5日(水)と8月6日(木)に実施します。

(8) 学校保健安全法で出席停止とされる感染症の罹患などにより受講ができない場合について

インフルエンザ等の感染症の場合など、本学が受講困難であると判断した場合は受講いただけませんので、予めご了解ください(判断が難しい場合は、本学教員免許状更新講習担当まで問い合わせください)。

(9) 受講料の返還について

受講料振り込み後、受講辞退、または(6)講習の中止となった場合、(8)法定伝染病により受講できない場合などは、納入された受講料を次のとおり返還します。

なお、返還には別途手続きが必要ですので、その際にお電話にてお問合せください。

ア) 全額返還

- ・(7) 予備日が(6)により中止となり受講できない。
- ・(7) 予備日に複数講習があり受講できない。
- ・(8) 法定伝染病により受講できない。
- ・講習は開催されているが、居住地が自然災害等により安全に本学まで来ることができない。

イ) 事務手数料(1,000円)を差し引き返還

- ・自己都合による辞退(当初講習日、予備日とも)

ウ) その他

- ・2日に渡り実施する講習で、1日は受講し、もう1日が受講できない場合は、理由の如何(上記ア)を含む)に関わらず、事務手数料(1,000円)を差し引き返還する。

(10) 損害保険について

教員免許状更新講習の主催者として、教員免許状更新講習のための保険には加入しませんので、傷害保険等の加入は受講者各人の判断によりご対応願います。

(11) 写真などの撮影について

講習の状況を写真やビデオに記録し、ホームページ等に掲載することがあります。但し、個人を特定できるものではありません。ご了承願います。

(12) 受験上配慮を必要とされる方について

受講上配慮を必要とされる方は、申し込みをする前に本学教員免許状更新講習担当までお電話にてお問合せください。なお、本学では受講の際または修了認定試験時におけるノートテイク・手話通訳・点字・移動補助者等の確保や修了認定試験時間の延長には対応できませんので、予めご承知おきください。

(13) 修了証明書及び履修証明書の再発行について

7(2)のとおり、各講習の認定試験の結果、認定基準に達した受講者には、9月下旬に修了証明書もしくは履修証明書を発行しお送りします。

万が一紛失された場合は、「大阪学院大学教員免許状更新講習修了・履修証明書再発行願」をお電話にてご請求ください。

再発行に掛かる証明書代金は無料ですが、送料はご負担いただきます。有効期間の更新又は更新講習修了確認のための申請まで紛失なさないようくれぐれも保管にはお気をつけください。

11. 問い合わせ先

大阪学院大学教務事務室教務課 教員免許状更新講習担当

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目 36 番 1 号

TEL (06)6381-8434 (代表) e-mail : koushin@ogu.ac.jp

*緊急を要する件については、メールでのお問い合わせはご遠慮いただき、電話でのお問い合わせください。

12. 参考

機関	HP アドレス
文 部 科 学 省	http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm
大阪府教育委員会	http://www.pref.osaka.lg.jp/kyoshokuink/kousinsei/index.html

13. 講習スケジュール

すべての講習日において、受付にて受講証(写真貼付のこと)によるご本人確認を行います。

受付は8:30から始めますので、講習開始時間までにお済ませください。

*講習の進捗により講習順番、時間など変更が生じる場合がありますので、担当講師の指示に従ってください。

[A] 必修領域講習 (6時間) : 7/30 (木) 9:00~17:15

80分 講習① 9:00 }	休憩	80分 講習② 10:30 }	昼食	50分 講習③ 12:40 }	休憩	70分 講習④ 13:40 }	休憩	80分 講習⑤ 15:00 }	休憩	認定 試験 16:30 }	受講者評 価書記入 17:10 }
10:20		11:50		13:30		14:50		16:20		17:10	17:15

[B] 選択必修領域講習 (6時間) : 8/4 (火) 9:00~17:00

80分 講習 9:00 }	休憩	80分 講習 10:35 }	昼食	80分 講習 12:55 }	休憩	80分 講習 14:30 }	休憩	認定 試験 16:05 }	受講者評 価書記入 16:55 }
10:20		11:55		14:15		15:50		16:55	17:00

[C1] 選択領域講習 (12時間) : 7/31 (金) 9:00~16:50 及び 8/1 (土) 9:00~17:00

[1日目]

100分 講習 9:00 }	休憩	70分 講習 11:00 }	昼食	100分 講習 13:10 }	休憩	100分 講習 15:10 }
10:40		12:10		14:50		16:50

[2日目]

70分 講習 9:00 }	休憩	90分 講習 10:30 }	昼食	100分 講習 13:00 }	休憩	50分 講習 15:00 }	休憩	認定 試験 16:05 }	受講者評 価書記入 16:55 }
10:10		12:00		14:40		15:50		16:55	17:00

[C2] 選択領域講習 (6時間) : 8/3 (月) 9:00~17:00

80分 講習 9:00 }	休憩	80分 講習 10:35 }	昼食	80分 講習 12:55 }	休憩	80分 講習 14:30 }	休憩	認定 試験 16:05 }	受講者評 価書記入 16:55 }
10:20		11:55		14:15		15:50		16:55	17:00

14. 本学アクセスマップ

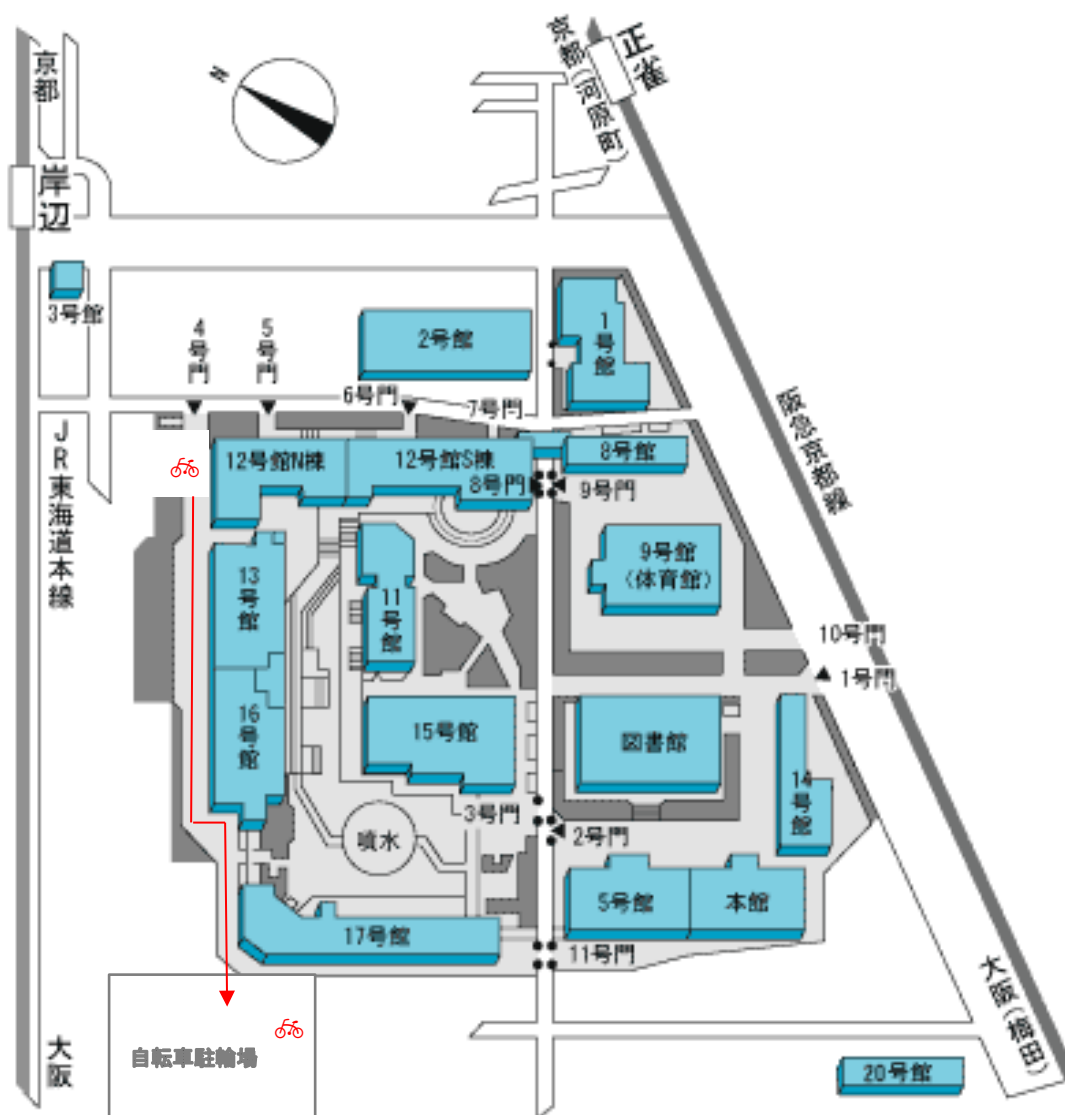
JR 岸辺駅または阪急正雀駅より徒歩5分

公式HPでご確認ください。

<https://www.osaka-gu.ac.jp/guide/campus/access.html>

*受付、講習実施教室は、手続完了通知でご連絡する予定です。

■ キャンパスマップ



*自転車・バイクは、4号門から入校し、駐輪場に停めてください。

お分かりづらい場合は、受講当日までにお電話にてお問合せください。

15. 講習シラバス

【A】必修領域講習：最新の教育動向と子ども理解

【概要】

講習の概要	国の教育政策や世界の教育の動向、教員としての子ども観・教育観等についての省察、子どもの発達に関する脳科学・心理学等における最新の知識（心のバリアフリーを含む）、子どもの生活の変化を踏まえた課題について、最新の知見・技能の修得と今日的な教育課題についての理解及び考察を深めることを目指す。理解を深めるために内容に応じて受講者同士の意見交換やグループワークを取り入れる。
認定試験	講習終了後に筆記試験を実施し、これを評価します。
教材・参考資料	当日、配付します。
事前課題	課題の内容や提出方法等は、受講申込みの後、手続き完了通知と併せてお送りします。
その他	シラバスに示す時間はおおよその予定であり、講習の進捗に応じて変更する場合がありますので、担当講師の指示に従ってください。 文部科学省から示された講習内容を網羅するため、休憩時間など他講習に比べ短く設定しております。予めご了承ください。

【担当講師】

項目	講習科目名	担当講師氏名（所属・役職）
教員としての子ども観、教育観等についての省察	教職についての省察	杉山 伸一 （商学部 准教授）
国の教育政策や世界の教育の動向	教育政策の動向と法令改正 および世界の教育の動向	植木 信博 （大阪府教育センター カリキュラム開発部部长）
子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む。）	子どもの発達に関する科学的知見に基づく指導	谷口 高士 （情報学部 教授）
	特別支援教育の推進 —教室でインクルーシブ教育をどのように進めるか—	山田 章 （特別支援教育士）
子どもの生活の変化を踏まえた課題	カウンセリングと子ども理解	岩岡 眞弘 （経済学部 講師）

【A】必修領域講習 ①

開 講 日	7月30日(木)	講 習 時 間	9:00 - 10:20
時 間 数	80分	形 態	講義・グループ討論
事 前 課 題	あ り		

講習科目名	教職についての省察
講 師 名 (所属)	杉山 伸一 (商学部 准教授)
講習概要	学校を巡る近年の状況変化について理解を深めるとともに、教員に求められる資質能力、教員としての子ども観・教育観等の視点から、教育現場での現状を振り返りながら、講義と情報交換を主とした討論を組み合わせた授業をおこなう。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校を巡る近年の様々な状況変化について、客観的かつ具体的に理解することができる。 ・ 教員に対して、地域・保護者が何を求め、何を期待しているかを、これまでの個々の教育現場での実践を振り返り、現状と問題点を把握し改善策を考えることができる。 ・ 討論を通して、小・中・高のさまざまな教育現場での実践経験や課題を共有することにより、教員一人ひとりが自らの問題として自覚することができる。
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校を巡る近年の状況の変化 <ol style="list-style-type: none"> ① 近年の教育改革の動向と学校の状況変化の把握 ② 教師の指導力について～確かな学力向上のための授業改革を中心に～ ③ 学習や生活に関する児童・生徒の意識の変化、学校や教員に対する保護者の意識と期待 2. 専門職たる教員の役割と課題は何か？ <ol style="list-style-type: none"> ① 1での学校を巡る近年の状況の変化を踏まえて、適切な指導の在り方を受講者同士の情報交換・グループ討論を中心に行う。 ② 授業づくり、学級づくり、生徒指導、キャリア教育などの各テーマに分かれて勤務校での現状を中心に発表・討論を行い、専門職たる教員の役割と課題について考える。

【A】必修領域講習 ②

開 講 日	7月30日(木)	講 習 時 間	10:30 - 11:50
時 間 数	80分	形 態	講 義
事 前 課 題	あ り		

講習科目名	教育政策の動向と法令改正および世界の教育の動向
講 師 名 (所属)	植木 信博(大阪府教育センター カリキュラム開発部 部長)
講習概要	法令改正及び国の審議会の状況等および近年の世界の教育の特徴
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令改正、国の審議会の状況等を理解する。 ・ 近年の状況を踏まえた学力向上の取組について考える。 ・ 近年の世界的な教育の特徴を理解する。
講習内容	<p>法令改正、国の審議会の状況等</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学習指導要領を通じた教育施策などの変遷を知る。 ② 近年の世界の特徴的な教育の考え方や取組を知る。 ③ 子どもを取り巻く社会状況の動向を知る。 ④ 新学習指導要領等の方向性について理解する。 ⑤ 求められる教育実践について理解する。

【A】必修領域講習 ③

開 講 日	7月30日(木)	講 習 時 間	12:40 - 13:30
時 間 数	50分	形 態	講 義
事 前 課 題	あ り		

講習科目名	子どもの発達に関する科学的知見に基づく指導
講 師 名 (所属)	谷口 高士(情報学部 教授)
講習概要	科学的視点に基づく発達の捉え方、ワーキングメモリと行動や学習上の問題との関係を中心とする子どもの発達に関する最新の科学的知見、心のバリアフリーと考え方を理解し、それらを踏まえた具体的な指導法を学ぶ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達を科学的に捉えることができる。 ・ ワーキングメモリの働きを中心に子どもの行動や学習上の問題を理解し対応を考えることができる。 ・ 心のバリアフリーを理解し実践的に考えることができる。
講習内容	<p>子どもの発達および特徴的な学習や行動の理解と指導</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 科学的知見に基づいて発達を捉える ② ワーキングメモリの働きから学習や行動を理解する ③ 日常的な場面を通じて心のバリアフリーの考え方を理解する <p>※次の時間の最後に、本科目の内容も含めて、受講者同士や講師との情報交換や質疑をおこなう予定である。</p>
受講上の意注	短時間での情報交換を有意義なものにするために、子どもの発達や学習に関する具体的な問題や疑問を考えてきて、それを踏まえて講義・情報交換に臨んでいただきたい。情報交換や質疑では積極的な発言を望む。

【A】必修領域講習 ④

開 講 日	7月30日(木)	講 習 時 間	13:40 - 14:50
時 間 数	70分	形 態	講義・ グループ 討論
事 前 課 題	あ り		

講習科目名	特別支援教育の推進 —教室でインクルーシブ教育をどのように進めるか—
講 師 名 (所属)	谷口 高士(情報学部 教授) 山田 章(特別支援教育士)
講習概要	インクルーシブ教育システムの構築をめざす特別支援教育について国・府の動向を学ぶとともに、子ども一人一人の発達や状態等の子ども理解に応じた指導・支援の在り方について考える。
到達目標	・インクルーシブ教育システムの構築に向けた国・府の動向と実際の支援教育について。 ・子ども一人一人の教育ニーズに応じた指導・支援を一斉授業に取り込む理論や方法を理解する。
講習内容	① インクルーシブ教育システムの構築をめざす特別支援教育の実情について ② 一斉授業の中での多様な学びの場の確保とは？ ③ 子ども一人一人の発達と理解をふまえた指導・支援について ※最後に、前の科目の内容も含めて、受講者同士や講師との情報交換や質疑をおこなう予定である(20分程度)。
受講上の意注	短時間での情報交換を有意義なものにするために、個人の特性に応じた支援に関する具体的な問題や疑問を考えてきて、それを踏まえて講義・情報交換に臨んでいただきたい。情報交換や質疑では積極的な発言を望む。

【A】 必修領域講習 ⑤

開 講 日	7月30日(木)	講 習 時 間	15:00 - 16:20
時 間 数	80分	形 態	講 義
事 前 課 題	あ り		

講 習 科 目 名	カウンセリングと子ども理解
講 師 名 (所属)	岩岡 眞弘(経済学部 講師)
講 習 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ カウンセリングについて(講義と演習) ・ 子ども理解(子どもを取り巻く生活環境の変化から) ・ 教員のあり方についての省察
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ カウンセリングの理論と実際を通して「聴くこと」を知る ・ 生活環境の変化と子どもについて理解する ・ 教員のあり方を省察する
講 習 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングの理論と実際(参加者相互のロール・プレイ) 「聞くこと」と「聴くこと」 2. 現在社会と多様な子ども理解 <ol style="list-style-type: none"> ① 現代社会の特徴 ② 多様な子どもを考える 3. 教員のあり方への省察 <ol style="list-style-type: none"> ① 児童・生徒理解とは ② 教師の態度について

必修領域講習 認定試験	〈試験時間〉16:30-17:10(解答時間40分間)途中退室不可
----------------	-----------------------------------

*** 認定試験終了後、教員免許状受講者評価書の記入をお願いしております。**

【B】選択必修領域講習：教育の情報化（情報通信技術を利用した指導及び情報教育（情報モラルを含む。）等）

【概要】

講習の概要	情報教育の現状と展望を解説した後、情報の科学的な理解を深めるための学習としてコンピュータを使わずコンピュータサイエンス(CS)を学ぶ CS アンブラグドや、コンピュータの動作原理を体感するためのプログラミング学習について実習を交えて解説する。また、情報通信技術が子どもたちに及ぼす影響や注意点と指導のポイントについても紹介し、それに関するディスカッションも行う。
認定試験	講習終了後に筆記試験を実施し、これを評価します。
教材・参考資料	当日、配付します。
事前課題	なし
その他	シラバスに示す時間はおおよその予定であり、講習の進捗に応じて変更する場合がありますので、担当講師の指示に従ってください。 本講習はPCを利用した簡単な演習を行います。

【担当講師】

項目	講習科目名	担当講師氏名 (所属・役職)
教育の情報化（情報通信技術を利用した指導及び情報教育（情報モラルを含む。）等）	情報通信技術と教育	西田 知博 (情報学部 教授)

【B】 選択必修領域講習

開講日	8月4日(火)	講習時間	9:00 - 10:20 <15分休憩> 10:35 - 11:55	12:55 - 14:15 <15分休憩> 14:30 - 15:50
時間数	320分	形態	講義・実習	
事前課題	なし	その他	パソコン教室で実施します。	

講習科目名	情報通信技術と教育
講師名 (所属)	西田 知博(情報学部 教授)
講習概要	情報教育の現状と展望を解説した後、情報の科学的な理解を深めるための学習としてコンピュータを使わずコンピュータサイエンス(CS)を学ぶCSアンブラグドや、コンピュータの動作原理を体感するためのプログラミング学習について実習を交えて解説する。また、情報通信技術が子どもたちに及ぼす影響や注意点と指導のポイントについても紹介し、それに関するディスカッションも行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報教育の現状を理解する ・ CSアンブラグドや初学者プログラミング環境を通じて、難しく思える情報科学の諸概念の学習が容易であることを体験する ・ 情報通信技術が学校に及ぼす影響に関して理解する
講習内容	<p>1. 情報教育の現状と今後の展望(80分)</p> <p style="padding-left: 20px;">① 初等中等教育における情報教育の現状</p> <p style="padding-left: 20px;">② 情報教育変革の方向性</p> <p style="padding-left: 20px;">③ これから教えるべきことは</p> <p style="text-align: center;">〈休憩 15分〉</p> <p>2. 情報の科学的な理解を進めるためのコンピュータを用いない学習(80分)</p> <p style="padding-left: 20px;">① 情報科学を楽しく教える～CSアンブラグド</p> <p style="padding-left: 20px;">② CSアンブラグドを用いたアクティビティ(実習)</p> <p style="text-align: center;">〈昼 食〉</p> <p>3. プログラミング教育(80分)</p> <p style="padding-left: 20px;">① なぜプログラミング教育が必要か</p> <p style="padding-left: 20px;">② プログラミング初学者のための学習環境</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 体験的プログラミング(実習)</p> <p style="text-align: center;">〈休憩 15分〉</p> <p>4. 情報通信技術が及ぼす学校への影響と情報モラル教育(80分)</p> <p style="padding-left: 20px;">① 学校を取り巻く情報通信ネットワークの現状</p> <p style="padding-left: 20px;">② 子どもたちが利用するネットワーク上のコミュニケーションサービス 情報通信技術にまつわるトラブルと対処(ディスカッション)</p>

認定試験	〈試験時間〉16:05-16:55(解答時間40分間) 途中退室不可
------	------------------------------------

*認定試験終了後、教員免許状受講者評価書の記入をお願いしております。

【C】 選択領域講習

【概 要】

講 習 の 概 要	以下の講習科目の専門スタッフが講師を務める。 詳細は各講習のシラバスを参照のこと。
認 定 試 験	各講習終了後に筆記試験を実施し、これを評価します。
教 材 ・ 参 考 資 料	当日、配付します。
事 前 課 題	なし
そ の 他	シラバスに示す時間はおおよその予定であり、講習の進捗に応じて変更する場合がありますので、担当講師の指示に従ってください。

【担当講師】

	講習科目名	担当講師氏名（所属・役職）
【C1】	児童生徒の理解に役立つ社会心理学	田中 豊 (情報学部 教授)
【C2】	カウンセリングと教員	木村 正徳 (商学部 講師)

【C1】 選択領域講習：児童生徒の理解に役立つ社会心理学[1日目]

開講日	7月31日(金)	講習時間	9:00 - 10:40 <20分休憩> 11:00 - 12:10	13:10 - 14:50 <20分休憩> 15:10 - 16:50
時間数	370分	形態	講義・グループ討論	
事前課題	なし	その他	必ず2日目も受講する必要があります	

講習科目名	児童生徒の理解に役立つ社会心理学
講師名 (所属)	田中 豊(情報学部 教授)
講習概要	社会心理学の研究成果の中から、児童生徒や教員の心理や行動、あるいはコミュニケーションの理解に役立つであろう内容について紹介すると共に、少人数のグループによるディスカッションや演習を実施し、講義内容について体験的に理解を深める。
到達目標	児童生徒や教員の人間関係やコミュニケーションに関する人間心理について理解を深めると共に、社会心理学的な分析方法やものの見方を修得する。また少人数のグループによる演習により、グループ演習やディスカッションを教育に用いることの効果やその意義についても理解を深める。
講習内容	<p>1. 子供の発達とコミュニケーション・他者の認知 (50分)</p> <p>① 母子相互作用と愛着行動、子供の知的発達</p> <p>② 印象形成、対人認知に影響を与える心理特性</p> <p>2. 対人魅力・動機づけ(欲求) (50分)</p> <p>① 人を好きになる要因</p> <p>② 動機(欲求)の種類</p> <p style="text-align: center;">〈休憩 20分〉</p> <p>3. 演習1(自己紹介・ディスカッション) (70分)</p> <p style="text-align: center;">〈昼 食〉(60分)</p> <p>4. 演習2(ブレインストーミング) (50分)</p> <p>5. 原因帰属と達成動機・同調、役割と服従 (50分)</p> <p>① 原因の推定とやる気</p> <p>② みんなと同じ方向への圧力・教員や生徒の役割と内面化</p> <p style="text-align: center;">〈休憩 20分〉</p> <p>6. 非言語(ノンバーバル)コミュニケーションの重要性 (50分)</p> <p>① 非言語(ノンバーバル)コミュニケーションの分類と役割</p> <p>② 個人空間(パーソナル・スペース)</p> <p>7. 演習3(パーソナル・スペースの測定) (50分)</p>

【C1】 選択領域講習：児童生徒の理解に役立つ社会心理学[2日目]

開講日	8月1日(土)	講習時間	9:00 - 10:10 <20分休憩> 10:30 - 12:00	13:00 - 14:40 <20分休憩> 15:00 - 15:50
時間数	310分	形態	講義・グループ討論	
事前課題	なし	その他	必ず1日目も受講する必要があります	

講習科目名	児童生徒の理解に役立つ社会心理学
講師名 (所属)	田中 豊 (情報学部 教授)
講習概要	社会心理学の研究成果の中から、児童生徒や教員の心理や行動、あるいはコミュニケーションの理解に役立つであろう内容について紹介すると共に、少人数のグループによるディスカッションや演習を実施し、講義内容について体験的に理解を深める。
到達目標	児童生徒や教員の人間関係やコミュニケーションに関する人間心理について理解を深めると共に、社会心理学的な分析方法やものの見方を修得する。また少人数のグループによる演習により、グループ演習やディスカッションを教育に用いることの効果やその意義についても理解を深める。
講習内容	<p>8. 援助行動・社会的促進と社会的手抜き・生活環境や教室環境の心理的影響 (70分)</p> <p style="margin-left: 20px;">① 人を助ける上での条件と傍観者効果 ② 周りに人がいることが作業に影響を及ぼす ③ 生活環境や教室環境が人の心理に影響する</p> <p style="text-align: center;">〈休憩 20分〉</p> <p>9. 教室の人間関係の視覚化・うわさ話の信憑性 (50分)</p> <p style="margin-left: 20px;">① ソシオメトリー ② 流言 (うわさ)</p> <p>10. 演習4 (流言の変容・伝言ゲーム) (40分)</p> <p style="text-align: center;">〈昼 食〉 (60分)</p> <p>11. 演習5 (ロールプレイ) (50分)</p> <p>12. 演習6 (集団討議の効果) (50分)</p> <p style="text-align: center;">〈休憩 20分〉</p> <p>13. 演習7 (コミュニケーション演習) (50分)</p>

認定試験	〈試験時間〉 16:05—16:55 (解答時間 40分間) 途中退室不可
------	---------------------------------------

*認定試験終了後、教員免許状受講者評価書の記入をお願いしております。

【C2】 選択領域講習：カウンセリングと教員

開講日	8月3日(月)	講習時間	9:00 - 10:20 <15分休憩> 10:35 - 11:55	12:55 - 14:15 <15分休憩> 14:30 - 15:50
時間数	320分	形態	講 義・ ロールプレイ ・ グループワーク	
事前課題	なし			

講習科目名	カウンセリングと教員
講師名 (所属)	木村 正徳 (商学部 講師)
講習概要	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングの考え方を理解し、教員にとっての意義を考える。 ・カウンセリングの理論(主に来談者中心療法)を学び、ロール・プレイを通じてカウンセリングの実際を体験する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング・マインドを身に付け、学校内外で生かせる。 ・自他の内面を考える習慣を身に付ける。
講習内容	<p>1) カウンセリングの考え方 (80分)</p> <p>A. 心理療法について</p> <p>B. カウンセリング(来談者中心療法)について</p> <p>C. カウンセリングの理論</p> <p style="text-align: center;">〈休憩 15分〉</p> <p>2) カウンセリングの実習(80分) ロール・プレイ(聴き方の基本)</p> <p style="text-align: center;">〈昼 食〉</p> <p>3) カウンセリングと教員 (80分)</p> <p>A. 教育相談の実際①(教育相談のノウハウ)</p> <p style="text-align: center;">〈休憩 15分〉</p> <p>B. 教育相談の実際②(80分) グループワーク(実際の事例を考える)</p>

認定試験	〈試験時間〉16:05-16:55(解答時間40分間)途中退室不可
------	-----------------------------------

*認定試験終了後、教員免許状受講者評価書の記入をお願いしております。

大阪学院大学教務事務室教務課 教員免許状更新講習担当

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目 36 番 1 号

TEL (06)6381-8434 (代表) e-mail : koushin@ogu.ac.jp